

意見書

桜川市議会では、以下の2件の意見書を可決し、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

東海第二原子力発電所を再稼働しないことを求める意見書

福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染被害は、県境を超え、東北・関東一円に広がり、避難住民をはじめ多方面に甚大な被害を及ぼしました。

東海村にある東海第二原子力発電所は、平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震により、一時外部電源を失うなど、もし津波があと少し高かったら福島第一原子力発電所と同じような深刻な事態になるところでした。しかも運転開始から33年を経過し、至るところに老朽化現象が見られます。また、半径30km圏内に約90万人が住む人口密集地に建ち、加えて政府の地震調査研究本部や東大地震研究所などが、極めて高い確率でマグニチュード7～8の巨大地震が茨城県沖で起こり得ると予測しています。

よって安全性が確保されないままである今、請願趣旨にご理解いただけるよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年9月21日

教育予算の拡充を求める意見書

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要なことである。特に学級規模の少人数化は保護者などの意見募集でも小学1年生のみならず、各学年に拡充すべきとの意見が大多数である。地方は独自の工夫で学級規模の少人数化を進めてきているが、地方交付税削減の影響や厳しい地方財政の状況などから、自治体が独自財源で学級の少人数化を拡充することは困難な状況になっている。

また、東日本大震災において、学校施設の被害や子どもたちの心のケアなど教育の早期復興のための予算措置、早期の学校施設の復旧など政府として人的・物的な援助や財政的な支援に継続的に取り組むべきである。

したがって、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させるため、次の事項を実現されるよう、強く要望する。

1. きめ細かな教育の実現のための少人数学級を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、その根幹となる義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
3. 東日本大震災における教育復興のための予算措置を継続して行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年9月21日

一般議案に対する

議案審議

補正予算や条例の制定・改正、人事案件などの一般議案に対して審議を行いました。その中から、主な質疑を掲載します。

真壁町古城地内市道路線の廃止 (使われていない市道の廃止)

問 これまで道路として使われていなかった理由は何か。また、今までどうして廃道にしなかったのか。

答 県道供用開始後、一般の交通用に供していない状態で、道路としての役割を終えていましたが、合併前の認定道路のままになっていました。当時は事実認定に至っていませんでした。

廃道とされていませんでした。

問 廃道にした後、買い受ける人はいるのか。

答 廃道が決定した場合、最終的に希望者に払い下げをするようになりますが、一部については家があるので、通行のために再認定する予定です。払い下げについては、現在二名の方に予定しています。

問 道路の先に地域の神社があり、通れなくなると困るので、立ち入り禁止ということにならないようお願いする。

答 そのような通行については、これまでどおりできるように進めていきたいと思えます。

給食センター建設

問 給食センターの事業費で、建物と設備を一括して入札するのかが分割にするのか。両方のメリット、デメリットは。

答 一括発注の場合は工程管理が容易で、瑕疵担保責任が明確になります。各種の事業を一括で発注するため、それぞれの事業のコストが不明確になるおそれがあります。分離発注の場合、地元企業の育成ということから採用されることが多くなっており、コストの明確化ができませんが、工程管理、瑕疵担保責任の所在等については懸念される場所です。今回の給食センターではできるだけ予算を低く抑えるために、分離発注を予定しています。また、メーカー等については同等品ということで指定はしません。

問 分離発注とはどのようなに分けるのか。また機械や施設の更新・修理等の場合、どのようなになるのか。

答 建築本体、電気機械、外構、厨房を分離する考えです。減価償却も建物は四十年、厨房施設は十五年と仮定して、更新や修理もケースバイケースということになるかと思えます。

工事契約

問 真壁小学校体育館の耐震補強及び大規模改修工事の入札が不調に終わった原因は、何と考えているのか。

答 状況から判断すると、東日本大震災の影響を受けて、各業者さんの手持ち工事が多く、真壁の体育館の工事に参加するのが難しかったことだと思えます。

問 真壁小学校の本校舎は、早い時期に建てかえる可能性があるか。校舎の建てかえと一緒にやった方がよいのでは。

答 来年の三月には工事を終了し、しっかりと子どもたちに屋内体育館で体を動かせるような状況をつくってあげたいという思いを強く持っています。今回の東日本大震災の耐震補強については、ぜひやらせていただきたい。



真壁小学校体育館